

まちからの各種事項の説明のあと

参加者の皆さんからの質問・意見などを受付け

意見交換が行われました。

その主なものを紹介します。

町

営バスについて。車を
運転しない人にとって

は、朝の便が出てしまえば次
は昼過ぎまで便がない状態な
ので、便数を増やしてもらえ
ないか。また、電車の時間と
の接続が便利になれば、もっ
と利用者が増えるのでは。

【総務企画課長】運行経費と

利用者数を考えると、便数を
増やすことは非常に難しい状
況です。運行時間の変更
を考えています。電車との接
続についても調査中で、ここ
らも見直しを考えています。
町営バスの利点は、町の考え
で運行時間などが決められる
こと。まちの皆さんにもっと
便利に利用いただけるよう努
力します。

収

支推計を見ると、町も
努力していることがわ

かるが、いずれ赤字が解消で
きたとき、何もないまちに
なっているのではないだろう
か。赤字解消に取り組むのは
わかるが、これからどんなま
ちにしていきたいのか考えを
聞きたい。

【町長】私としては、皆さん

が安心できる、住んでよかつ
たというまちをつくらしてい
きたい。日野町には病院も高校
もあり、JRの駅は3つ、特
急も停まります。今あるまち
の資源を大切にしながら、そ
の付加価値を高めるまちづく
りを進めます。そのために住
民の皆さんの声を聞きながら
一つ一つ積み上げていきたい
と考えます。



保育所統合もまちの課題

保

育所統合について、4
月からでも行う予定だ

とのことだが、園児の送り迎
えはどうなるのか。高齢の祖
父母で送迎となると、車の運
転ができない人もあると思っ
た。

【町長】保護者の皆さんと話
す中で一番の問題です。今で

も園児の送迎は原則保護者で
ということにしています。統
合すれば、開所時間の延長な
どで対応したいと思います。

役

場黒坂支所・町公民館
を廃止すればとの意見

も聞くが、町としてどう考え
ているのか。支所・公民館を
維持することで経費もかかる
だろうし、山村開発センター
に公民館機能をもたせたり、

地域に管理を任せたりもでき
るのでは。

【町長】県下の合併していな
い自治体で支所があるのは日
野町だけです。町公民館と併
設しているのが大きな特長で
すし、支所ではお金の受け取
りや各種証明も発行できます。
また、経費の面でも工夫して
なるべく費用がかからないよ
う努力しています。今後も機
能を維持しながら残してい
きたいと考えています。

若

者のUターンなど、今
いる子どもたちが将来

帰ってきたいと思うような職
場が日野町にはない。今後の
産業の担い手の育成方針を聞
きたい。

【町長】現在、まちには大き

議

会の傍聴人数はどのく
らいか教えてほしい。

町民の関心も高いので、土日
の議会開催も考えたらどうか。

【議会議務局長】傍聴人数は、
一般質問のときは約20人、そ
の他の日は10人くらいです。
土日の開会については、議会
運営委員会で検討中です。



黒坂地区の住民サービスの拠点、黒坂支所

全共で優秀な成績 日野和牛の実力示す



等級決定の後、会場内の牛舎に戻ったいちかつふく号に声をかける西村君江さん

5年に一度、全国の優秀な和牛が集まり、その優劣を競う「全国和牛能力共進会（全共）」が、10月11日から14日までの4日間、米子市を主会場に開かれました。

まちからは、西村槐さん（下榎）、遠藤真由美さん（別所）飼育の牛3頭が出品され、それぞれ優秀な成績を収めました。

おめでとうございます。

西村さんの「いちかつふく号」優等賞4席に

若い雌牛を審査する「種牛の部第2区」に出品された、西村さん所有の「いちかつふく号」は、全国から選抜された全33頭のうち、優等賞4席（部門中全国4位）という好成績を収めました。

審査を見守っていた妻の君江さんは、「審査の間は涙が止まりませんでした。まさか



「よくがんばったね」とえさを与える遠藤さん

ここまで上位になるとは思っていないかもしれません。初日に体調を崩して入院している夫に真っ先に電話し、結果を伝えたと、夫も電話口で泣いていました。本当に支援してくださった皆さんのおかげです」と喜びを語りました。

遠藤さん出品の2頭も優等賞に決定

同じ系統の4頭の雌牛を審査する「種牛の部第4区」には、遠藤さん所有の「しばひ

めひら号」「しばひめかね号」が県代表4頭のうちの2頭として出品されました。

第4区では、全13組のうち4組に優等賞1席から4席までの順位がつけられ、残る鳥取県代表を含むすべての組に優等賞が与えられました。

結果について夫の弘之さんは、「できれば3席以内にといい気持ちもあったので、この結果は少し残念ですが素直に受け入れ、足らない部分を補って今後に生かしたい」と話しました。